

第五章 漢字くずし字攻略のヒント

お家流

漢字のくずし字は古くからあったが、青蓮院（京都東山区粟田口、天台宗寺院）に入寺した伏見天皇の皇子・青蓮院尊円入道親王が創始した尊円流、あるいは粟田流とも呼ばれる書体が、「御家流」と称され、江戸時代に幕府の公文書の書体となり、更にこれにならって各藩でもこの書体を使い、次第に大衆化し、全国的な実用書体となった。

前提条件

・くずし字は当然ながら旧字を崩したものであり、旧字を知っておく必要がある。

例

與(与)	傳(伝)	團(団)	會(会)	驛(駅)
畫(画)	應(応)	當(当)	對(对)	臺(台)
處(処)	聲(声)	醫(医)		

・漢字の異体文字も多く使われている。

例

迄(迄)	帀(虎)	帀(紙)	杻(杉)	脉(脈)
𠂔(多)	𠂔(等)	𠂔(最)	𠂔(逃)	𠂔(州)
種(秋)	𠂔(等)			

・へん(扁)とつくり(旁)をおきかえた字

例

味(和) 恠(松) 他に秋、政、群、概など

・同形を省略した字

例

澁(渋) 攝(摂) 州(邇)
他に出、品、森など

・国字(日本で作られた字)も多い。

例

榊、辻、峠、畑、働など

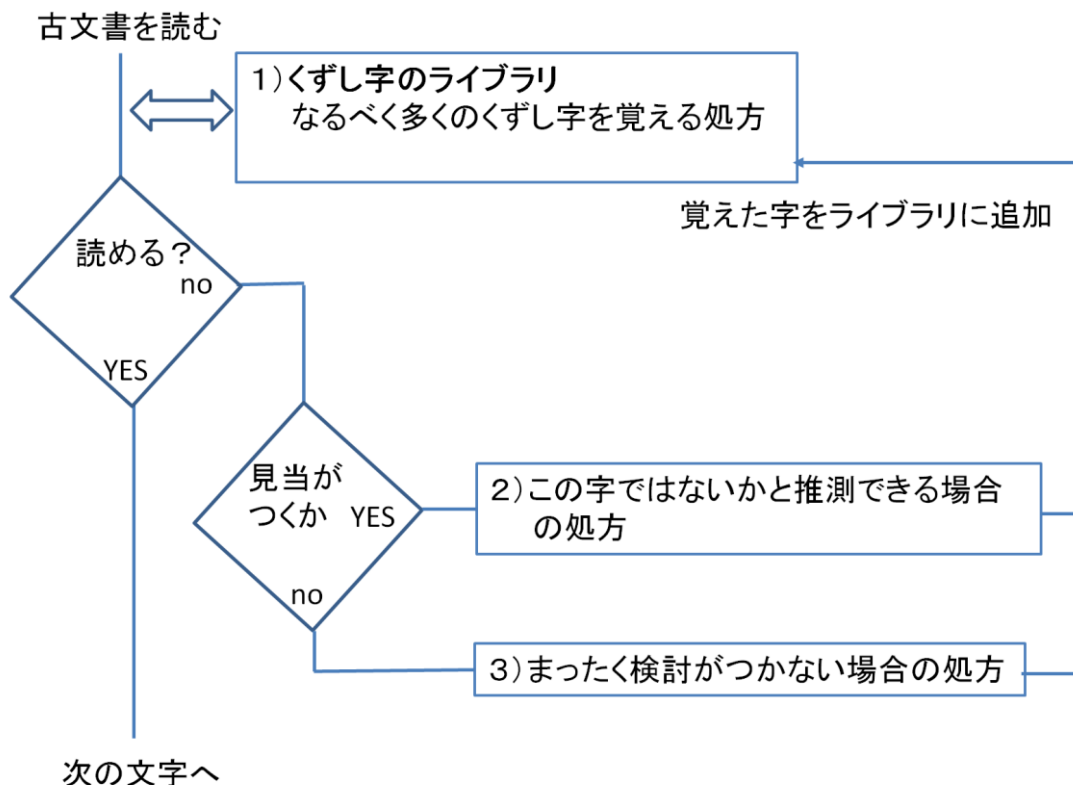
・元の字を想像できないようなくずし字の例。これらは理屈なしに覚えるしかない。

𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔

宿題

課題文書4「高札場書留」の読み下し文を書いて下さい。
解答は二月末にホームページに掲載。

くずし字解読のフローチャート



1) なるべく多くのくずし字を覚える

- A 古文書に頻出するくずし字を優先的に覚える
頻出変体仮名 頻出漢字
- B 分類し、まとめて覚える
 - ・膨大な漢字群を5項目に別けて覚える
 - ・身体、数字、十二支など関連漢字を覚える
- C くずし字をなぞって体得する

2) この字ではないか、と推測できる場合

- A 音、訓から辞書で検索確認
- B PCアプリで検索確認

3) まったく検討が見つからない場合

- A その字の前後の字が読める場合
- B 筆の入り方、一筆目、二筆目・・・で該当の字を探し出す
- C くずし字を篇、旁などに分解して手がかりをつかむ
- D くずし字を真似て書いてPCに判断させる
- E くずし字をカメラで撮りAIに判断させる。

1A 「なるべく多々の」頻出する「くずし字を覚える」
 ・「古文書いよはじめ」の提案

(著者) 古文書解読検定協会代表理事小林正博氏)

漢字を次の五種類に分類して覚える。

単漢字

単純なくずしからなる漢字

臣 平 右

特殊文字

解読の際に右に寄せて小さく書く字

江 江 而 江 江 二

同じ字をくり返して書く「踊り字」

種々 種々

頻出漢字

古文書に非常によく出てくる漢字

候 候 候

異体字

現代ほとんど使われていない漢字

壹(壹) 縣(縣) 喜(喜) 當(當)

旧字

() 内は異体字・旧字です

時(時) 為(為) 兼(兼)

頻出漢字

頻出する漢字と返読文字

小林氏は、古文書で頻出する文字(漢字)として

超重要漢字

26文字

返読文字

14文字

合計

40文字

を選んでいる。古文書解読検定試験を担当しているから、それなりのデータがあるのだろう。この40文字のくずし字は最優先でマスターしたい。

超重要漢字

候 御 様 此 其 事 旨 存

承 参 取 仰 出 来 聞 置

書 今 差 上 敷 之 罷 成

付 申

返読文字

可 被 令 為 不 如 (以上助動詞)

有 無 從 難 於 乍 以 奉

1C なぞって体得

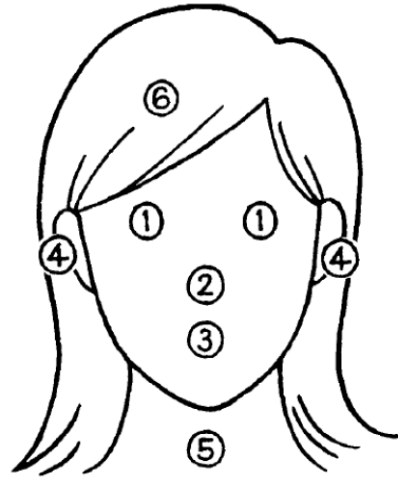
くずし字の上にトレーシングペーパーを置き、元の楷書を思い浮かべながら、くずし字をなぞり、体得する。

1B 関連する字をまとめて覚える

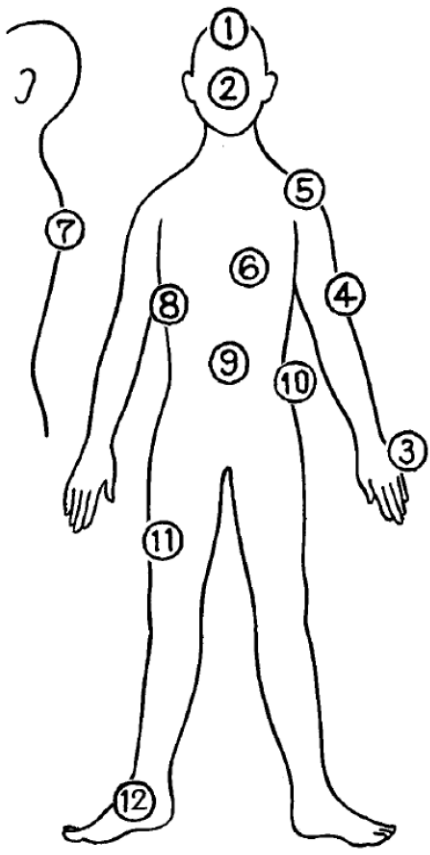
古文書くずし字 手がかりをつかもう！

油井宏子 著

顔グループ



身体グループ



- 十二支・時刻・方角グループ
- 数字グループ
- 金銭関連グループ などなど

2 何の字が見当がつく場合

くずし字が何の漢字か推量できる場合、その読み(訓読、音読)から、その漢字のくずし字例を確かめる事ができる。

漢字音訓索引

この索引は「漢字編」に掲げた漢字を音訓によって検索するために作成し、それぞれその所在ページ数を示した。見出し字の下に掲げたすべての音訓を除くことは基本的に最大となるので、利用者が引くであらう音訓を主とし、省略したものが少ない。また別体・異体字等は訓引きの文字は最少限とし、その他も活字にない文字は無理に入れない。

あ	酒造 300,1072	あおももの 931	宿 928	昭 465	あく 1223
ア	亞 26	あか 932	あかめる 266	恩 466	あくた 900
	亞 166	あかる 643	あからめる 470	畏 467	あくび 173
	亞 190	あか 15	あがる 5	畏 470	あくひ 542
	亞 524	あか 186	あがる 26	晰 470	あくひ 856
	亞 593	あか 310	あがる 127	晰 472	あけ 15
	あい 713	あか 497	あがる 414	晰 478	あけ 497
	あい 783	あか 749	あがる 424	晰 478	あけ 827
	あい 784	あか 827	あがる 459	晰 478	あけ 832
	あい 1137	あか 832	あがる 857	晰 478	あけ 1005
	あい 1139	あか 1041	あがる 975	晰 478	あけ 478
	あい 1139	あか 1042	あがる 1180	晰 478	あけ 460
	あい 1143	あか 1043	あがる 1187	晰 478	あけ 388
	あい 1156	あか 1044	あがる 1187	晰 478	あけ 393
	あい 1218	あか 1044	あがる 1187	晰 478	あけ 408
あ	あ 18	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 414
ア	あ 23	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 423
	あ 149	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 424
	あ 163	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 426
	あ 170	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 632
	あ 173	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 805
	あ 173	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 858
	あ 666	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 1053
	あ 669	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 1187
	あ 810	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 1182
	あ 945	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 1183
	あ 1010	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 1183
アイ	あ 161	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 527
	あ 163	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 372
	あ 165	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 372
	あ 168	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 173	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 173	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 186	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 223	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 363	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 405	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 478	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 543	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 545	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 586	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862
	あ 941	あか 1044	あがる 1200	晰 478	あけ 862

この機能を利用して便利にアプリ化したのが「PCソフト くずし字解読用例辞典」



3 何の字が見当たつかない場合
3 A 前後の字が読める場合

「手」の用例を検索

「跡」で確認

5356 跡

1615 手

読めない

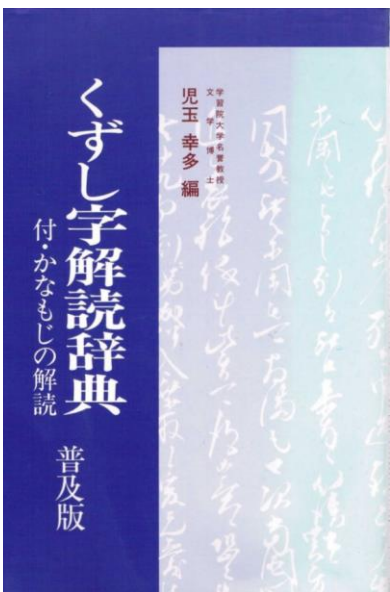
用例は「上附」用例が多いので、前の字から検索

3 B 起筆に注目してくずし字攻略

くずし字の第一画を基準として、次のような五種類の部首に分け、第二画以降もこれを基準にして、何のくずし字であるかを探る。

1	縦点	ノ	下に向って連続する点で起筆するもの
2	横点	ヽ	右に向って連続する点で起筆するもの
3	斜棒	ノ	右上から左下へ斜に伸ばす棒で起筆するもの
4	縦棒	丨	上から下へ伸ばす棒で起筆するもの
5	横棒	一	左から右へ伸ばす棒で起筆するもの

このような手法でくずし字を起筆順に配列し、本来の文字（楷書体）を知る辞典として
くずし字解説辞典 児玉幸太 編 東京堂出版
がある。



3.3 漢字を分解して見よう

- 部首を見分ける。 油井宏子 著

漢字は左右や上下などで分解して、その部分から分類する「**くずし方**」が出来る。それらは位置「**よつこ**」

「**偏**」(へん) 「**旁**」(うし) 「**冠**」(かんむり) 「**脚**」(あし) 「**構**」(かまえ) 「**垂**」(たれ) 「**繞**」(こまわり)

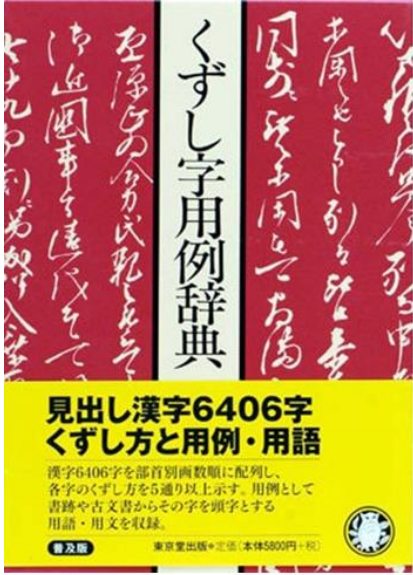
の七種の部首(偏旁または偏旁冠脚)に別けられる。

この部首がわかれば、これを手がかりとして、元の漢字(楷書体)を探しあてる手法。

この代表的な辞書が

くずし字用例辞典 児玉幸太 編 東京堂出版

である。



• この辞典を「**自炊**」してPDFにし、検索しやすいように編集して自製アプリを作る方法もある。

ヒント

頻出する篇のくずし方をマスターするだけで識字率が大幅に向上する。

ひと・にんべん・ひとがしら・ひとやね 人 イ イ ㇰ ㇱ	て・てへん 手 才 才 ㇴ ㇵ	いぬ・けものへん 犬 犛 犛 ㇶ ㇷ
にすい 彳 彳 ㇸ	こころ・したごころ・りっしんべん 心 忄 忄 ㇹ ㇺ	き・きへん 木 木 ㇻ ㇼ
ぎょうにんべん 彳 彳 ㇽ	みず・さんずい・したみず 水 冫 氷 氷 ㇾ ㇿ	こどもへん 子 子 ㇿ

漢字の部首例

偏（へん） 主に漢字の左側に位置する部分

にんべん	てへん	さんずい	きへん	ごんべん
イ	扌	氵	木	言

旁（つくり） 主に漢字の右側に位置する部分

りっとう	ちから	おおざと	ほくづくり	おおがい
冫	力	阝	女	頁

冠（かんむり） 漢字の上側に位置する部分 他になべぶた

くさかんむり	うかんむり	あなかんむり	たけかんむり	あめかんむり
艹	宀	宀	宀	雨

脚（あし） 漢字の下側に位置する部分

ひとあし	こころ	れっか	さら	にじゅうあし
儿	心	灬	皿	廾

構（かまえ） 漢字を包むように外側に位置する部分

くにがまえ	もんがまえ	ぎょうがまえ	はこがまえ	かくしがまえ
口	門	行	匚	匚

垂（たれ） 漢字の上側から左下にかけて位置する部分

がんだれ	まだれ	しかばね	とだれ	やまいだれ
厂	广	尸	尸	疒

繞（にょう） 漢字の左側から下にかけて位置する部分

しんによう	えんによう	かんによう	そうによう	きによう
辶	廴	冫	走	鬼

文字入力検索 手書き入力検索

検索数を選択してください。
20

もと字体候補

手書入力

検索結果

解:\.0606 薰	解ノ.0480 亥	用.1533 慮	解ノ.3352 我	用.0044 事	用.0524 史	解ノ.1376 知	用.0540 吏	解\.0683 蕘
解>.0098 急	用.4184 羞	解>.3265 取	用.3650 秉	用.0419 勲	用.2475 毒	解>-5892 奢	解>.2923 意	解>-3332 裏
用.4684 慧	用.1961 昆							

候補の漢字をリストアップする

・スマホで解読

AI-OCRを活用した古文書解読アプリ

古文書カメラ

スマホで撮って手軽に解読

古文書などのくずし字資料を、誰でもその場で手軽に解読できるアプリケーション「古文書カメラ」。
本版を用いて印刷されたくずし字資料だけでなく、
手書きの古文書に対応したAI-OCRを搭載しており、
幅広い資料の解読を支援します。



・インターネットでくずし字検索

東京大学 電子くずし字字典データベース（文字検索）

電子くずし字字典データベース（文字検索）

データベース検索 > 電子くずし字字典データベース（文字検索）

文字
東

読み

部首コード

部首選択

検索 クリア 検索履歴



・奈良文化財研究所

史学文字データベース連携検索システム

くずし字の覚え方、見極め方 10ヶ条

変体仮名

- 1 変体仮名すべてを覚える必要はない。
頻出する変体仮名を優先的に覚えれば良い。
- 2 その仮名の元となった漢字（字母）と一緒に覚えるべし。
字母をスラスラ言えるかどうかが目安となる。

漢字

- 3 漢字のくずし字の元の字体は、現在使っている常用漢字ではなく、「旧字」「異体字」である。「旧字」、「異体字」を覚えるべし。
- 4 古文書に頻出する漢字のくずし字を優先的に覚えるべし
- 5 頻出漢字はくずされて記号化する。逆にいうと記号化した文字は頻出漢字と心得るべし。 候、御、可、被 など
- 6 使用頻度の少ない漢字は、余りくずされないので覚える必要は特にない。
- 7 部首（偏旁冠脚）を見る目を養うべし
- 8 画数の多い字体は"因数分解"読み。新は立+木+斤、騒は馬+又+虫、禮は示+曲+豆など、思いのほか単純な字体の組み合わせであることに気付く筈。
- 9 解読に迷ったら筆の入り方、第一筆に注目すべし。
- 10 くずし字は読めれば、書けなくてもいい。

古文書解読実践 8ヶ条

- 1 メールと同じく、いきなり本文を読まない。まずはじめに ①日付 ②差出人 ③宛名 で文書の身元確認を行うべし。
- 2 漢文的表現を読み下し、「てにおは」を補い、音読すべし。
- 3 解読文（釈文）はまず自分で作成し、先達の解読文で補完すべし。
- 4 読めない字は印をつけて置くだけ、横に解読文（字）を書き入れざるごと。
- 5 旧かな使いは、書けなくても読めるようになっておくこと。
- 6 主語がない事が多いので、自分で考えて主語を補うこと。
- 7 古文書の裏にある歴史、登場人物に想いを馳せるべし。
- 8 読むだけでなく現代語訳を考える（作成する）こと。

附録B 参考図書

